

日本美術教育連合「造形・美術教育力養成講座」について（第3次案内）

「日本美術教育連合」は内閣府の承認を得た造形・美術教育にかかわる唯一の公益社団法人です。公益事業として、毎年連続講座を実施し、子どもと造形表現をめぐって理解を深め、講義と演習を通して教育実践力を高める講座を行っています。第4期は、美術及び美術教育について幅広い視点からとらえ直すために、「越境し、拡張する美術鑑賞」をテーマに講座の内容を企画しました。2/3以上を受講し、規定を満たした参加者には、公益社団法人 日本美術教育連合からの「認定書」を授与します。どうぞ、奮ってご参加ください。（事務局担当理事 奥村高明）

1. 対象：幼保・小・中・高・大学教員、学生、院生、美術館関係者、画塾経営者、連合会員
2. 第4期テーマ：「美術教育ワークショップ -越境し、拡張する美術鑑賞-」
3. 日程及び内容等：1講座2コマ（90分×2）で構成し、全体で4講座（合計8コマ）を開催します。

(1) 第1回講座 「アートと社会のこれからの関係を考える」

- ① 日時：2018年12月9日(日) 講演13:00~14:30 ワークショップ14:40~16:10
- ② 場所：アマナ（天王洲アイル本社1F研修室）東京都品川区東品川2丁目2-4 3
- ③ 講師：上坂真人先生（アマナ執行役員）
- ④ 内容：出版社のビジネスサイドの責任者を経て、広告等企業向けビジュアル制作の世界ではNO.1企業・アマナに入社。執行役員として、LIVING WITH PHOTOGRAPHYのテーマの下、世界の開かれたアートマーケット、そこにおける企業、生活者、地域との関係を研究し、実際に企業に提案し、いくつもの企業とのアートのある生活提案を実現してきています。美術作品が飾られているアマナ本社の研修室を使って、アートを買う人を増やすために、何ができるのかを皆さんで考えたいと思います。
- ⑤ 申し込み：以下よりお申し込みください（第1回講座専用）※定員20名（残3名）
<https://kokucheese.com/event/index/537849/>

(2) 第2回講座 「社会に開かれる芸術」

- ① 日時：2019年1月13日(日) 講演&ワークショップ 13:00-14:30 14:40-16:10
- ② 場所：武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ（東京都港区赤坂9丁目7番1号ミッドタウンタワー5階）
- ③ 講師：杉浦幸子先生（武蔵野美術大学）
- ④ 内容：今まで、2001年第1回横浜トリエンナーレ教育プログラム担当、2002-04年森美術館パブリックプログラムキュレーターなどを務めてきた武蔵野美術大学教授の杉浦幸子先生から、アートに関わる多様なモノ、人、場、コトを最大限活用し、多様な人々が、豊かに学び、そして生きるための“コト”のデザインを学ぶとともに、参加者同士によるワークショップ形式で学びを深めます。
- ⑤ 申し込み：以下よりお申し込みください（第2回講座専用）
<https://kokucheese.com/event/index/541243/>

(3) 第3回講座「ポストモダン以降の美術制作と鑑賞 -【風景芸術】を巡って」

- ① 日時：2019年2月9日(土) 13:30~15:00,15:10~16:40
- ② 場所：聖心女子大学4号館4-1教室、カフェ・ジャスミン
- ③ 講師：田窪恭治先生(美術家)
- ④ 内容：田窪恭治先生は、サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂の再生プロジェクト(林檎の礼拝堂)によって、フランス政府より芸術文化勲章(オフィシエ)を受賞された日本を代表する美術家です。近代から現代へ至る時間帯の中で、日常性を基軸とした美術作品/行為が拡張しつつありますが、今回の講座ではキーワード【風景芸術】を軸に、講義とワークショップによって「深い学び」を共有します。大学構内の壁画「黄金の林檎」の鑑賞会と、学内カフェでの茶話会（ドリンク付き）もあります。
- ⑤ 申し込みフォーム作成中：定員30名

(4) 第4回講座 「絵の具の種類とその特徴を生かした制作 - 身近材料の可能性」

- ① 日時：2019年3月9日(土) 13:30~15:00,15:10~16:40
- ② 場所：聖心女子大学2号館4階造形室
- ③ 講師：大塚義孝先生（公益財団法人美育文化協会）
- ④ 内容：公益財団法人美育文化協会の大塚義孝氏およびスタッフによる絵の具にかかわるワークショップ。絵の具の原材料から製造工程、種類等についてのお話と、実際に絵の具を作りながら様々な表現技法を試し、絵の具表現の可能性を探求します。
- ⑤ 申し込みフォーム作成中：定員30名